

6 日の NY 市場はドル安・円高が強まった。この日発表になった 3 月の米雇用統計で、非農業部門雇用者数 (NFP) が 12 万人増と予想 (20.5 万人増) を大きく下回ったことで、発表後ドルは売りが強まった。このところ FOMC ボードメンバーからは、現状での追加緩和に消極的な姿勢が示されていたが、きょう雇用統計の結果に、市場は再び QE3 への期待感を復活させている。

本日はグッドフライデーで株式や原油市場は休場となっていたが、週明けの取引でリスク回避の雰囲気が強まるのではとの懸念もあり、円相場は円高の動きが強まった。

ドル円は一時 81.35 近辺、ユーロ円は 106.55 近辺まで下落している。ドル円はボリンジャーバンド下限 (21 日・2 標準偏差) に到達。下のサポートとしては、2/1-3/15 の上昇波のフィボナッチ 38.2% 戻しの水準が 81.10 付近に控える。調整なのか、それとも下げトレンド復活なのかを判断するうえでも、フィボナッチ 38.2% の水準の動向は意識される。

NFP については小売や建設の減少が圧迫し、その他、これまで雇用増加をサポートしてきた派遣業が減少に転じたことが、弱い内容に繋がった。失業率は 1 ポイント改善していたが、職探しを諦めた労働者を反映する非労働人口が増加していることが要因と考えられる。労働参加率も 63.8% (前回 68.9%) に低下していた。暖冬の効果もあり、前回まで好調な雇用回復が続いていたことから、今回はその反動が出たとの指摘も出ていた。

来週はバーナンキ FRB 議長をはじめ、各地区連銀総裁の講演が多数予定されているが、果たして FOMC メンバーから追加緩和を強調した発言が再び出てくるか注目される。

【米雇用統計】

*失業率 (3 月) 21:30

結果 8.2%

予想 8.3% 前回 8.3%

*非農業部門雇用者数 (NFP) (3 月) 21:30

結果 120 千人

予想 205 千人 前回 240 千人 (227 千人から修正) (前月比)

週末の米雇用統計の数字は良くなかったわけで、円高/ドル安が進行している。しかし商品市況も株式市場も休みだったので、これを材料に売られるものなのか、それとも QE3 期待が台頭して買われるものなのかは、週明けを見ないと何とも言えない。

押しなべて今の相場は材料への反応が、経済指標がダメだったから単純に下がるとか、そういう簡単な動きはしてくれないわけだ。先の先を読むとか、裏の裏を読むとか、そう言えば聞こえは良いわけだが、逆に言えばその時次第のいい加減な相場だとも言える。

昔から「相場は相場に聞け」という格言があるわけだが、なぜか相場というものは、一見して理論的に合ってるように見えれば見えるほど、実際はそうならない。特に、難しい展開の時、頭で考えすぎても結果は良くない事が多いもので、判らん時は判らんで考えるだけ無駄だ。

バカでは相場に勝てないのは当然なわけだが、カンも大切であり、おそらく考えすぎるとカンは鈍るのだろう。そんな風に考えている昨今だ。

〔貴金属〕

今週の金の値動き

	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
4月2日	¥4,452	68	¥4,465	70
4月3日	¥4,429	-23	¥4,441	-24
4月4日	¥4,371	-58	¥4,382	-59
4月5日	¥4,305	-66	¥4,316	-66
4月6日	¥4,311	6	¥4,325	9

金相場は、先週号においては『4月前半はどちらかと言えば押し目買いが有利か。もう一度4,600円台を目指すのが先であるとの見方である』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けこそ上昇したものの、その後は急落。3/7の安値4,331円も一気に割り込み、週末には安値で4,276円まで下落。その後は戻して終了である。

○東京金日足

…削除済み…

直近の高値4,560円(3/28)→4,276円(4/6)までの下げ幅は284円。一目均衡表の雲に沿うように上がるのかと思いきや、逆に3月の安値を切る急落となった。

チャートではもみ合い下放れであり、雲の中にも完全に突入。まずは先に高値を付けると考えていた当方の相場観も、完全に曲がった展開である。

…中略…

もしも戻りで買ってしまっている向きは、その時点で難平買いするしかあるまい。

なお今回の下げは、米国で追加金融緩和が見送られたため、株安～リスク資産売りが出たわけで、つまりは金融緩和の催促相場となった事が要因だ。国内は来週の月・火で日銀金融政策会議があるわけで、そこで何らかの対策が出れば戻るだろう。

ただしそれには逆の見方もあるわけで、何ら有効な策を出せないようなら、また円高が進行して株・商品は下落するという考えもある。どっちになるかは神のみぞ知る話だが、火曜の相場動向には注目だろう。

一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥3,970	4月26日	¥4,751	9月7日	¥3,807	12月30日	¥4,311
2012年6月	¥3,909	6月28日	¥4,754	9月7日	¥3,810	12月30日	¥4,314
2012年8月	¥4,506	8月29日	¥4,754	9月7日	¥3,808	12月30日	¥4,315
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,652	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,323
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,324
2012年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥4,276	4月6日	¥4,325

○NY金日足(4/5現在)

…削除済み…

週末4/6のNY市場は、グッドフライデーで休日。3連休となっているわけだが、週明けの夜間取引からは通常通りに始まる。

なお NY 金のチャートは、…中略…

CFTC 発表の 4/3 現在のファンドのポジションは、前週比約 6,000 枚減の約 14 万 1,800 枚のロング。

2 週ぶりの減少であり、ファンドは気迷いだ。…中略…

4/5 現在の ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、来週から各国中央銀行の対応次第で株価・為替と共に不安定な展開が続くそうだ。基本的には押し目買いだとは考えるが、QE3 論が台頭するかどうか注目だ。

今週のプラチナの値動き

	4 月限(当限)	前日比	2 月限(先限)	前日比
4 月 2 日	¥4,396	68	¥4,420	73
4 月 3 日	¥4,401	5	¥4,431	11
4 月 4 日	¥4,370	-31	¥4,390	-41
4 月 5 日	¥4,251	-119	¥4,277	-113
4 月 6 日	¥4,292	41	¥4,321	44

プラチナ相場は、先週号においては『目先は底堅い動きで上値志向をする相場ではあるまいか。いずれは下値もあるかもしれないが、目先は 4,500 円台を回復するのが先だろうと読む』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けこそ急騰したものの、その後は下げた相場が 5 日に急落。一気に 4,200 円台前半まで値を消し、その後は戻しての終了である。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

4,500 円台を回復する前に、3/23 の安値 4,295 円を割り込む急落の週となったわけである。

ただし金は 3/7 の安値すら割ったわけだが、プラチナは 3/7 の安値 4,191 円はまだ割り込んでおらず、一目均衡表の雲でもまだ支えられている格好だ。そういう意味ではまだ強いのかかもしれないが、逆に今回の下げは株安からも来ているため下げ遅れているとも受け取る事も可能で、上がれば上がったでやっぱり…、下がれば下がったでそうか…という状況である。つまりどっちに行っても、結果論では納得である。

先週号では…中略…

こういう時は、待てば海路の日和ありで、じっとしているのが一番かもしれない。

いずれにせよ、来週の日米欧の中央銀行の動きで、相場の方向感がハッキリするだろうと考えている。

一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥4,826	4月26日	¥4,921	5月6日	¥3,363	12月30日	¥4,292
2012年6月	¥4,445	6月28日	¥4,770	8月23日	¥3,370	12月30日	¥4,288
2012年8月	¥4,581	8月29日	¥4,726	9月7日	¥3,380	12月30日	¥4,296
2012年10月	¥3,918	10月27日	¥4,570	3月14日	¥3,375	12月30日	¥4,296
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,376	12月30日	¥4,312
2012年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	¥4,191	3月7日	¥4,321

週末現在のサヤは、4,321円（プラチナ） - 4,325円（金） = -4円。

サヤの見方は先週号と変わらず。-547円（12/8）→95円（3/16）までのサヤ変化が起きたわけだが、今は調整中の展開。ただし-200円以下は用済みだろうし、この辺でサヤの値固めを行うのではないかと見ている。

結論として当方の相場観は、金とのサヤには大きな変化はないだろう。だがその金がどちらに向かうか不透明であるため、プラチナ相場の先行きも不透明。今後の金融政策の行方次第であろうと見る。

〔穀物〕

今週のコーンの値動き

	5月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
4月2日	¥26,630	1060	¥23,720	560
4月3日	¥26,480	-150	¥23,500	-220
4月4日	¥27,200	720	¥23,610	110
4月5日	¥26,800	-400	¥23,400	-210
4月6日	¥26,800	0	¥23,720	320

まずはコーンから…

先週号においては『週末のシカゴ市場は急騰だが、冷静に見れば強弱両方の材料である。逆ザヤは拡大するだろうが、手放しで買える相場ではないと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、米農務省報告での四半期在庫の急減という強材料を受けた週明けは急騰したが、当限の上昇に対して先物の上げは限定的なものにとどまり、その後はもみ合いになっての終了。

○ 東京コーン日足

…削除済み…

25,180円(3/19) → 23,050円(3/30)まで2,000円以上の下落を演じた相場は、23,000円台後半には戻したものの、当限の27,000円台乗せから見れば大した上げとはならず。

予想通りの展開となったわけだが、やはり新穀に関しては作付面積増というのが重くのしかかったわけである。

ここでもう一度、農務省報告の内容を記すと…

○作付意向面積は、前年比4%増の9586万Ac。

○3/1現在の在庫は、前年同期比8%減の60億900万Bu。

つまりは、旧穀には強材料でも、新穀には弱材料だったわけである。特に作付面積は、75年ぶりの高水準と見られているわけで、これは凄い事だ。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥27,970	4月18日	¥29,360	4月21日	¥22,000	11月28日	¥26,800
2012年7月	¥28,180	6月16日	¥28,560	8月30日	¥22,110	12月15日	¥26,770
2012年9月	¥27,440	8月16日	¥28,550	9月13日	¥21,930	11月28日	¥26,080
2012年11月	¥24,400	10月17日	¥25,060	3月19日	¥21,110	1月1日	¥23,600
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥24,890	3月19日	¥21,650	12月16日	¥23,390
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥25,180	3月19日	¥23,050	3月30日	¥23,720

○シカゴコーン日足(4/5現在)

…削除済み…

週末4/6のシカゴ市場は、グッドフライデーで休場。

チャートでは675.75セント(3/19) → 603セント(3/29)まで大きく値を消した後、農務省報告で急騰して666セント(4/3)まで反騰。

だが、まだその前までの下げを全て回復したわけではない。ましてや、東京先物は大きく上が

ったわけでもない。

先週号にて…中略…

なお CFTC 発表の 4/3 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、大勢では戻り売り相場であると見ているものの、現状の価格帯では買いも売りもしづらい。高くなれば売りたいが、安値を叩くと天候プレミアム分だけ持ち上げられる可能性もあるので。

今週の大豆の値動き

	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
4月2日	¥43,000	700	¥46,050	1680
4月3日	¥43,000	0	¥46,340	290
4月4日	¥44,300	1300	¥46,380	40
4月5日	¥45,000	700	¥46,100	-280
4月6日	¥44,990	-10	¥46,390	290

続いて一般大豆です…

先週号においては『年初来高値の更新は必至か。上がるだけ上がって天井を売ってくれた方がうれしいが、目先はまだ買い継続の相場であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、米農務省報告での強材料を受けた相場が週明けに急騰し、その後も高値圏での推移。先物3本がまた一代高値の更新となった。

○ 東京大豆日足

…削除済み…

週明けの急騰の後は、円高や他商品安などもあって大して上がらなかったが、下げもしない。貴金属・石油などの動きと全く違うどころか、同じ穀物商品のコーンとも一線を画す動きである。

ずっと右肩上がりのチャートが続いており、一時は80ポイントという異常な数値の相対力指数も出したわけだが、…中略…

先週出た米農務省報告の詳細をもう一度記すと…

○ 作付意向面積は、前年比1%減の7390万Ac。

○ 3/1現在の在庫は、13億7200万Bu。

コーンとは違い、旧穀にも新穀にも強材料が出ていたわけで、発表直後にたまたまシカゴ市場でコーンがストップ高、大豆はそこまで至らなかった事で相場の強さを見誤った向きもあったかもしれないが、大豆がその後も下がらなかったのは当然の話だ。

よって、今更買えない人も多いかもしれないが、まずは行くところまで行ってくれた方が判りやすいわけだ。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥50,170	4月18日	¥51,180	4月21日	¥31,200	12月16日	¥44,990
2012年6月	¥49,820	6月16日	¥49,910	9月5日	¥33,600	12月16日	¥44,650
2012年8月	¥47,450	8月16日	¥50,110	9月5日	¥35,610	12月15日	¥44,270
2012年10月	¥44,250	10月17日	¥45,100	4月6日	¥36,410	12月15日	¥45,100
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥45,500	4月6日	¥36,830	12月16日	¥45,500
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥46,430	4月3日	¥41,050	2月16日	¥46,390

○シカゴ大豆日足（4/5 現在）

…削除済み…

週末4/6のシカゴ市場は、グッドフライデーで休場。

ただしシカゴも農務省報告以降も上昇で、1430セント台まで上がっているのは事実。
また材料では、今度は南米の生産高も下方修正されるなど、米国産の輸出需要増加の観測も出ている。

CFTC発表の4/3現在のファンドのポジションは、…中略…

さすがに25万枚となったら売ってみたい気がするが、さてどこまで増加するか？

結論として当方の相場観は、押し目買い継続の相場展開が続くだろう。最終的には天候相場期に青田ほめになるような理想的な天候とならない限り、相場トレンドに変化はないだろうと見る。

[コメ]

今週のコメの値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
4月2日	¥14,370	130	¥14,200	50
4月3日	¥14,650	280	¥14,250	50
4月4日	¥14,920	270	¥14,510	260
4月5日	¥15,200	280	¥14,820	310
4月6日	¥15,050	-150	¥14,420	-400

今週のコメ相場は、先物では 13,990 円 (4/2) →14,890 円 (4/6) と上下で 1 週間 900 円の動きを演じた。

○東京コメ日足

…削除済み…

ほとんど誰もやったことが無いだろうコメ相場なので、ここで簡単に取引概要を記す。

現在の証拠金は 1 枚=3 万円。倍率は 100 倍なので、100 円動くと 1 万円の動きで、300 円動くと倍になるか、反対に行けばゼロになる。今週は 900 円動いたので、3 万円で 9 万円の動きであり、30 万円なら 90 万円の値動きである。

今週の 4 日～6 日の動きは、日々証拠金が倍になるか、ゼロになるかの値動きであり、うまく当たれば非常に妙味がある。

相場解説は、…中略…

東京コメ一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 4 月	¥14,330	10 月 21 日	¥15,700	4 月 6 日	¥13,380	1 月 11 日	¥15,050
2012 年 5 月	¥14,700	11 月 21 日	¥15,300	4 月 6 日	¥13,440	1 月 11 日	¥14,800
2012 年 6 月	¥14,170	12 月 21 日	¥15,430	4 月 6 日	¥13,480	1 月 11 日	¥14,820
2012 年 7 月	¥14,240	1 月 23 日	¥15,120	4 月 6 日	¥13,820	1 月 26 日	¥14,640
2012 年 8 月	¥14,200	2 月 21 日	¥15,020	4 月 6 日	¥14,090	4 月 2 日	¥14,600
2012 年 9 月	¥14,200	3 月 21 日	¥14,890	4 月 6 日	¥13,990	4 月 2 日	¥14,420

[ゴム]

今週のゴムの値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
4月2日	312.6	3.6	331.1	5.4
4月3日	313.5	0.9	330.8	-0.3
4月4日	310.5	-3.0	327.5	-3.3
4月5日	310.8	0.3	326.5	-1.0
4月6日	310.0	-0.8	326.0	-0.5

先週号においては『320円～340円程度での逆張り相場が続くだろう。仮に行き過ぎても、すぐには放れない相場であると見る』とコメントした。

今週の相場展開は、330円台から320円台に下落。安値は4/5に321.8円を記録した。

○東京ゴム日足

…削除済み…

貴金属や石油が下落する中、今週は321.8円まで記録。しかし3/7に記録した320.4円は割り込まず、まだ何とか値を保っている格好である。

チャートでは340円台での天井打ちで、徐々に頭が重くなっている印象もあるが、本格的に崩れて300円割れに向かうのかどうかまでの自信は無し。ちょっと目先は手が出しづらいか。

タイの市場介入は、…中略…

欧州では…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	292.5	10月26日	330.6	2月27日	248.6	11月11日	310.0
2012年5月	266.0	11月25日	335.0	2月27日	256.9	1月5日	311.7
2012年6月	279.6	12月22日	339.5	2月27日	258.7	1月5日	315.8
2012年7月	324.0	1月26日	342.0	2月27日	307.5	1月31日	320.7
2012年8月	340.7	2月24日	344.4	2月27日	320.4	3月7日	323.7
2012年9月	341.2	3月27日	341.9	3月27日	321.8	4月5日	326.0

当先のサヤは、4月限310.0円～9月限326.0円と16.0円の順ザヤ。順ザヤ幅は若干詰まった。季節要因から言えば、そろそろもっとサヤは詰まって良いと思うのだが、さて？

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、3/20現在で165トン減の14,092トン。3旬ぶりの減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、4/4まで休場だったが、始まった4/5以降も値動きは大して無し。大きく下がらなかった事は好感されたが…。

結論として当方の相場観は、頭が重くなってきているが、このまま下げトレンドに向かうかど

うかは不透明。小幅逆張りを続けながら、相場の方角を探る時期だろう。

[石油製品]

今週の原油の値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
4月2日	¥62,480	790	¥60,760	
4月3日	¥63,040	560	¥61,110	350
4月4日	¥63,360	320	¥61,630	520
4月5日	¥62,680	-680	¥60,760	-870
4月6日	¥62,500	-180	¥60,630	-130

まずは原油から…

先週号においては『今後も押し目買い継続の相場であろう。そうそう簡単に、今の原油相場は天井を打たないという見方である』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は4日に急落して101ドル台まで下落。ただし連休前には103ドル台までは戻した。

東京原油は、先物9月限が発会して一時6万円の大台を割れたが、翌日には61,900円まで大きく戻し、その後は6万円台でのみみ合いへ。

○ NY原油日足 (4/5 現在)

…削除済み…

週末4/6のNY市場は、グッドフライデーで休場。

相場は110ドル台から101ドル台まで徐々に値を消してきたわけだが、チャートではちょうど一目均衡表の雲の下限。抜けると悪いと見るか、抜けたところが調整安完了と見るかは、微妙なところ。

このところずっとコメントしているが、「とにかく今年は、中東イラン問題がきな臭いわけで、誰もが夏場に向けて上がると思っている。皆がそう思うと逆に行く場合もあるのが相場だが、ゴールドマン・サックスもブレントで夏場には140ドル目標とぶち上げているわけで、GW前までは少なくともその意見に逆らいたくない」というのが今の考え方だが、やはり皆がそう思っているだろうから頭が重いのもかもしれない。

いずれは上がるだろうが、まずは投げが出るのも必要なかもしれない。

なおそのロンドンブレントは5日123ドル台、ドバイ原油は120ドル台である。そんなに変わっていないわけで、NY原油が割安というだけの事だ。

4/3現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

9月限が発会し、60,800円→59,560円まで1,240円下げ、61,900円まで2,340円上げ、その後も500円単位で揺れ動いている。

おそらく今後も、よほどの事態が発生しない限り、58,740円(3/2)の安値は割れないだろうという考え方に変化はない。

しかし3/16の高値63,550円からは、単なる押しと言うには時間が掛かりすぎているわけで、またそれを目指すには新たな材料が必要だろう。つまりは、突っ込み買い主体の逆張り時間を稼ぐのが良いだろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥50,630	11月1日	¥65,020	3月15日	¥48,130	12月19日	¥62,500
2012年5月	¥51,720	12月1日	¥64,380	3月15日	¥47,910	12月19日	¥62,110
2012年6月	¥51,590	1月4日	¥64,020	3月15日	¥51,100	1月4日	¥61,540
2012年7月	¥51,290	2月1日	¥63,810	3月15日	¥51,040	2月3日	¥61,200
2012年8月	¥59,290	3月1日	¥63,550	3月15日	¥58,740	3月2日	¥60,900
2012年9月	¥60,800	4月2日	¥61,900	4月4日	¥59,560	4月3日	¥60,630

結論として当方の相場観は、押し目買いの相場展開に変化はないだろうが、若干頭も重くなってきた。突っ込みは買っても、大きく戻したところは利食いの逆張り作戦がベターか。

今週のガソリンの値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
4月2日	¥76,810	710	¥73,970	650
4月3日	¥76,900	90	¥74,030	60
4月4日	¥77,220	320	¥74,490	460
4月5日	¥76,270	-950	¥73,440	-1050
4月6日	¥75,470	-800	¥73,170	-270

続いてガソリンです…先週号においては『押し目買い継続の相場であろう。原油価格が高止まりする中で、スポットは8万円に乗せており、先物市場は割安との判断である』とコメントした。

今週の相場展開は、74,000円台までは上昇したものの、5日には急落して、週末は一時72,530円まで下落。先物の一代安値を更新した。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

77,810円(3/15)からは三尊天井のような格好になって来ており、まだ下げたところを買えば着実に儲かる相場ではあるものの、ここに来て買い買いだけではそんなに儲からなくなってきた相場だ。

いずれはまた8万円台に向けて上がってゆく相場であろうが、相対力指数の推移から考えても、目先は一度天井を打っているのだろう。高値で買い付いた買い方は、一度投げさせられる下げが来てもおかしくはない。

一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥62,380	10月26日	¥80,750	3月15日	¥59,350	11月22日	¥75,470
2012年6月	¥61,020	11月28日	¥80,590	3月15日	¥60,510	12月19日	¥75,550
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥79,810	3月15日	¥62,500	12月30日	¥75,190
2012年8月	¥66,800	1月26日	¥78,910	3月15日	¥64,920	2月3日	¥74,690
2012年9月	¥75,030	2月27日	¥77,810	3月15日	¥71,700	3月1日	¥74,050
2012年10月	¥74,980	3月26日	¥75,430	3月28日	¥72,530	4月6日	¥73,170

4/5 現在の業者間転売価格は、…中略…

3/31 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、急騰相場は完全に一服した。だからと言って下げ相場に変化することはあるまいが、次の上げ相場に移るためには何らかの材料が必要だろう。

今週の灯油の値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
4月2日	¥72,090	640	¥73,700	670
4月3日	¥72,260	170	¥73,890	190
4月4日	¥72,440	180	¥74,210	320
4月5日	¥71,500	-940	¥73,220	-990
4月6日	¥71,110	-390	¥72,830	-390

最後に灯油です…先週号においては『押し目買い継続の相場であろう。需要期明けでスポットは伸びないだろうが、先物は別と考えている』とコメントした。

今週の相場展開は、週前半高、週後半安の展開で、若干値を消しての終了である。

○東京灯油日足

…削除済み…

先物の安値は 72,230 円 (4/6) まで出ており、先物引継ぎ足では 3/15 の高値 75,730 円から 3,500 円の下落である。これはガソリンの下落幅 5,280 円に比べると小さい。

小さいが、チャートで相対力指数の推移を見れば、ほぼ同じような動きで変わらない。値位置としては下げ余地があるかもしれないが、今後も灯油は需要期限月が建ってゆくわけで、上昇は一服したとはいえ、売りで取る相場ではなかろう。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥61,740	10月26日	¥74,050	3月15日	¥59,010	12月19日	¥71,110
2012年6月	¥62,400	11月28日	¥74,200	3月15日	¥58,700	12月19日	¥70,950
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥74,500	3月15日	¥50,660	12月30日	¥71,120
2012年8月	¥63,840	1月26日	¥75,130	3月15日	¥61,870	2月3日	¥71,480
2012年9月	¥73,400	2月27日	¥75,730	3月15日	¥70,040	3月1日	¥71,980
2012年10月	¥74,590	3月26日	¥75,370	3月28日	¥72,230	4月6日	¥72,830

4/5 現在の業者間転売価格は、…中略…

3/31 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、押し目買い方針に変化はなし。ただし原油が下がるようなら、応分の下げはあるわけで、建っている限月を考えると一番下げづらいだろうと思っているわけだ。

[為替]

○ ドル/円相場日足

…削除済み…

84.17 円 (3/15) →81 円台まで円高となっているわけだが、チャートは石油相場の動きと全く一緒。つまり今の商品相場は、この為替の動きで動いているということなのである。

さて来週の月、火には日銀の金融政策会議があるわけだが、第 2 弾の円安誘導政策は出せるだろうか？ 商品相場の行方にも大きく左右しそうなので、それに注目している。

○ ユーロ/円相場日足

…削除済み…

111.42 円 (3/21) まで円安となった相場は、週末の NY タイムでは 106.55 円近辺まで円高となっている。

先週はスペイン債務問題も出たユーロだが、105.63 円を切るとチャートは W トップのネックラインを割り込む。

○ ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

こちらも分岐点で支えられて、ドル安/ユーロ高になっと思ったら、先週はまたドル高/ユーロ安に…。どうりで NY 金がるわけだ。

雇用統計の出た週末は、1.3100 付近で動いてないが、欧州と米国のどっちが悪いかの勝負か。

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com